

令和5年度第1回尾張旭市健康推進委員会 議事録〔要旨〕

【開催日時】

令和6年1月19日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

【開催場所】

尾張旭市保健福祉センター4階 シアタールーム

【出席委員：11名】

安井 徹郎（瀬戸旭医師会）
古峪 秀樹（尾張旭市歯科医師会）
裕原 吉久（尾張旭市薬剤師会）
小川 浩平（旭労災病院）
森 和雄（尾張旭市自治連合協議会）
久野 博行（尾張旭市スポーツ協会）
大池 幸子（尾張旭市健康づくり食生活改善協議会）
吉田 民子（尾張旭市健康づくり推進委員会）
原口 浩美（瀬戸保健所）
丸山 雄二（公募委員）
嶋崎 裕志（公募委員）

【欠席委員：3名】

松浦 哲生（公立陶生病院）
若杉 里美（愛知医科大学）
大橋 きよ子（尾張旭市地域婦人団体連絡協議会）

【傍聴者】

なし

【出席した事務局職員等】

白井健康福祉部長、西尾健康課長、川原課長補佐、磯村課長補佐、宮下副主幹

【議題】

- (1) 第3次健康あさひ21計画の策定及び今後のスケジュールについて
- (2) 最終評価に向けた取り組み状況について

【会議の概要】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 委員長、副委員長の選出
- 5 議題
- 6 その他
- 7 閉会

1 開会

<欠席委員、会議公開についての報告等>

2 あいさつ

3 自己紹介

4 委員長、副委員長の選出

<委員長に安井委員、副委員長に古峪委員が決定>

5 議題

(1) 第3次健康あさひ21計画の策定及び今後のスケジュールについて

<事務局より資料に基づき説明>

(2) 最終評価に向けた取り組み状況について

<事務局より資料に基づき説明>

(委員長)

コロナの影響で、がん検診の受診率が低く、まだ本来の数字に戻っていない。医師会で反省会が予定されており、そこで受診率が判明する。

(A委員)

資料4の市民アンケートの調査対象が20歳から70歳と大きなくくりになっているが、ライフステージ別ではないのか。

(事務局)

大きく成人というくくりにしているが、実際のアンケートは、20歳代から70歳の世代別に分け、それぞれ男女別にアンケートを採って分析している。

(B委員)

「⑨食育」の「学校給食における尾張旭市産または愛知県産の地場産物を使用する割合」は尾張旭市の小中学校の給食にあまり使われていないため、目標に達していないという解釈で良いか。

(事務局)

特定の期間でどれだけ使用していたかという統計に基づいている。年間で統計を取っていないので、正確性に欠くかもしれない。

(B委員)

地場産の野菜を使うイベントの週間にあたれば、上がるかもしれないということか。

(事務局)

基本的には、地産の食材を使うことを指導されているので、期間が影響しているのではないかと考えている。

(B委員)

きちんと意識してもこういう残念な評価になってしまうので、工夫するといいと思う。

(事務局)

統計を取る場がなく、統計として採用できるものが限定されてしまうので、結果が左右されることがある。

(B委員)

ほかの項目で、コロナの影響を受けている項目を教えてください。

(事務局)

⑦生活習慣病の「元気まる測定」がコロナ禍によりイベント等が中止になってしまい、参加する人が増やせなかった。引きこもりになって、元気がなくなったり、精神的につらい思いをされるということがあった。自分の健康は自分で管理するということで、筋トレ体操を自宅で رفتたり、各地区の公民館で血圧計や体組成計などを置いて健康管理ができるように、令和3年から取り組んでおり、徐々に増えてきたという感じがしている。

(B委員)

コロナでの健康危機の中で、評価も単純に達成できなかったということではなく、なぜかという理由と、努力した尾張旭市の特長があればいいと思う。

(C委員)

「②身体活動・運動」の「地域活動をしている人の割合」が明らかに減っているのは、コロナの影響だと考えられる。「①栄養・食生活」や「⑦生活習慣病」で、体重やメタボリックシンドロームに関係することもコロナの影響があると思う。

死因の老衰が増えており、がんや脳血管疾患、心疾患で亡くなった方が全国的に減ってきていると思う。

(A委員)

「地域活動」が何を指すのか答えにくいと思う。地域活動のイメージが湧かない。こういったものを考えているのか。

(事務局)

ボランティア活動や町内会、自治会の活動に出るところを想定している。地域の支えあいで、どの程度の人が地域活動に参加して、どういう活動をされているかを把握し、その結果を受けて働きかけができないかを検討していきたいという意味を持っている。

(事務局)

調査表では「ここ1年間で、地域活動(自治会、ボランティア活動、お祭りなど)に参加したことがありますか」と記載している。

(A委員)

「⑦生活習慣病【元気まる測定】」を知っている人の割合と、受けたことのある人の割合を聞いているが、「②身体活動・運動」の「ロコモティブシンドローム」は認知度だけを聞いている。ロコモティブシンドロームの認知度を聞いているのは何のためか。

(事務局)

前回の「健康日本21(第二次)」の国の指標となっていたためそれに準じているが、「健康日本21(第三次)」の指標が変わっているため、それに準じていく形で考えている。

(D委員)

地域活動はコロナの影響を受けている項目である。ここ3年の自治会の地域でのさまざまな行

事はほとんどなくなっているので、ここが一番大きくコロナの影響を受けていると思う。

6 その他

<次回会議日程、会議報酬について>

7 閉 会

以上